

めっきは材料強度をどう変えるのか

～アルミ合金と樹脂材料の機械特性を中心に～



めっきや表面処理は、防食性や装飾性を付与するための技術として広く利用されています。一方で、材料強度や破壊挙動などにも影響を及ぼすことが知られています。本講演会では、アルミ合金および樹脂材料を対象に、めっきが機械的特性に与える影響について、研究事例を交えながらわかりやすく紹介します。

日時 令和8年 **10**月**2**日(金) 15:00～16:30

場所 名古屋市工業研究所
電子技術総合センター1階 視聴覚室

<https://www.nmiri.city.nagoya.jp/aboutus/access/>



アクセス

定員 60名

参加費 **無料** ※但し、鍍金技術研究会員以外で講演資料をご希望の場合別途資料代1,000円が必要です。

プログラム・申込方法は裏面をご覧ください

(お問い合わせ先) 名古屋市工業研究所内 鍍金技術研究会

TEL : 052-654-9855 (中野), 052-654-9857 (松村)

主催 : 名古屋市工業研究所、鍍金技術研究会

協賛 : (公財) 名古屋産業振興公社、愛知県鍍金工業組合、
(一社) 表面技術協会中部支部

プログラム・講演概要

15:00～15:05 会長挨拶

15:05～16:05 講演「アルミニウム合金へのめっき・表面処理と機械特性」

講師 広島工業大学 日野 実 氏

講演概要 自動車分野では、車体の軽量化が進められており、高い比強度を有するアルミニウム合金の適用が増大しているが、アルミニウム合金の表面をめっき等によって高機能化させることで更なる適用拡大が期待できる。本講演では、めっきによってアルミニウム合金に取込まれた水素が疲労強度などの機械特性に及ぼす影響について演者らの研究を中心に紹介する。

16:05～16:30 講演「樹脂めっき材料の機械的特性評価
— 曲げ試験と衝撃試験 —」

講師 名古屋市工業研究所 浅野 成宏

講演概要 樹脂めっきは軽量化や意匠性の観点から幅広い分野で利用されているが、めっき層が機械的特性に与える影響については十分に整理されていない。本講演では、樹脂めっき試験片の曲げ試験およびシャルピー衝撃試験を行い、めっき膜厚や界面状態が破壊挙動および機械的特性に与える影響について紹介する。

参加申込方法

メールまたは FAXにてお申込みください。

【申込先】（公財）名古屋産業振興公社 E-mail : kougyou@nipc.or.jp
F A X : 052-661-0158

■ 申込締切：9月25日（金） ■

※メールの場合は本文に下記申込書の内容をご記入の上お送りください。

参加証等は発行いたしません。断りの連絡がない限り、どうぞお越してください。

鍍金技術講演会 申込書

ふりがな 会社名			
所在地	〒		
参加者	所属		
	役職		
	氏名		
連絡先	TEL :		E-mail :

・〇名古屋市工業研究所のメールマガジン登録

ご記入いただいたE-mailは、当所のメルマガ「NMIRI技術ニュース」に登録させていただきます。ものづくり企業のお役に立つ技術情報や当所主催のイベント情報などを毎月配信しております。メルマガ配信を「既に登録済みの方」、「希望しない方」は次に○をつけてください。

【 登録済み ・ 希望しない 】

メルマガには次からもご登録いただけます。 <https://www.nmiri.city.nagoya.jp/mailmagazine/>

※ご記入いただいた個人情報は、本イベントの実施及びメルマガ等のイベント案内に限り使用し、主催者、事務局、講師以外の第三者への提供は一切行いません。

